

令和7年2月3日

保護者 様

田村市立滝根小学校長 小川 久弥

学校評価アンケート、および滝根っ子ルール取り組み状況調査の結果等について

立春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝でお過ごしのことと存じます。

さて、7月・12月に依頼いたしました学校運営に関する評価アンケート、および滝根っ子ルール取り組み状況調査について、お忙しい中ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

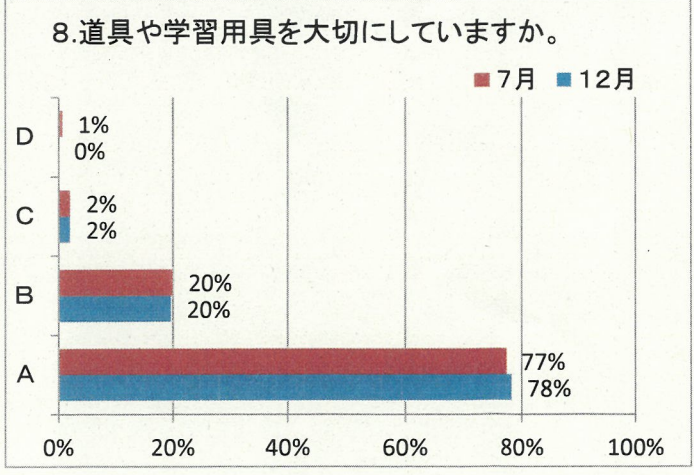
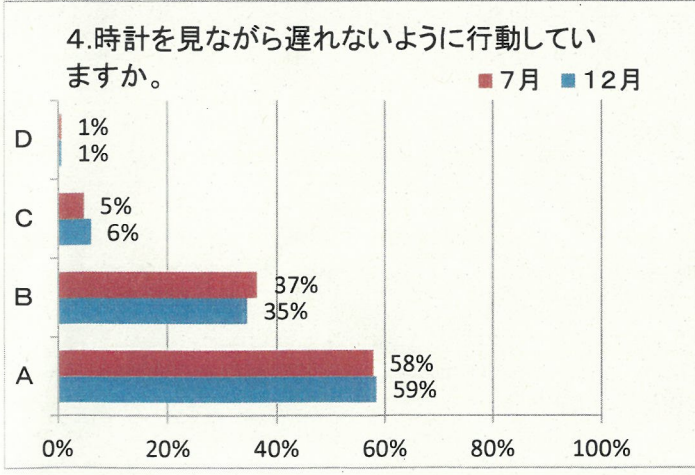
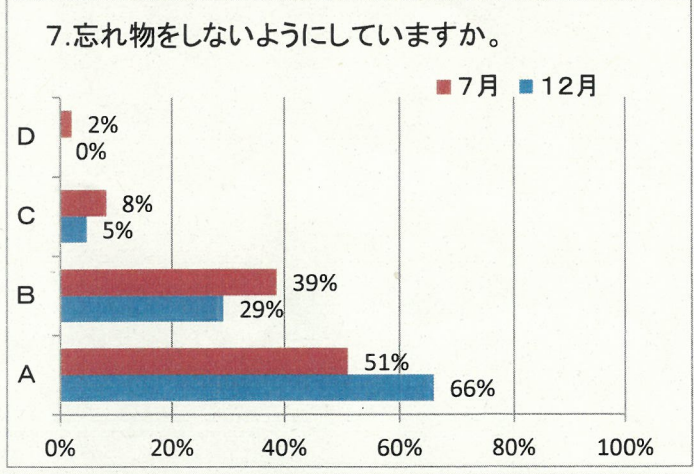
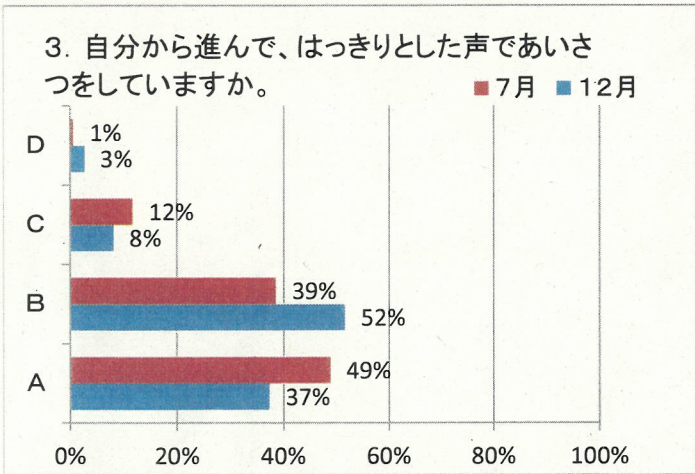
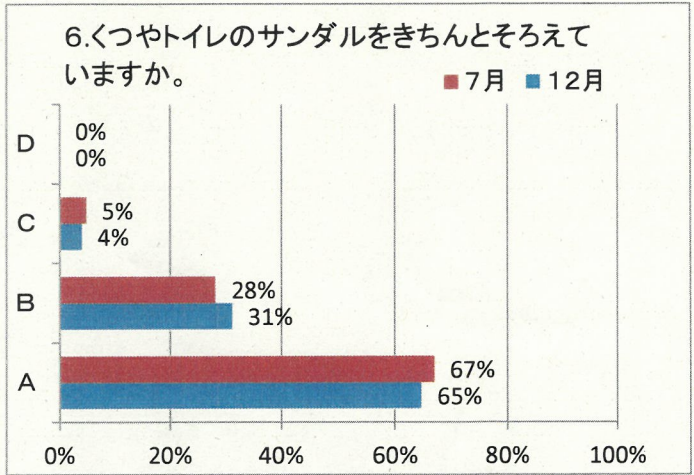
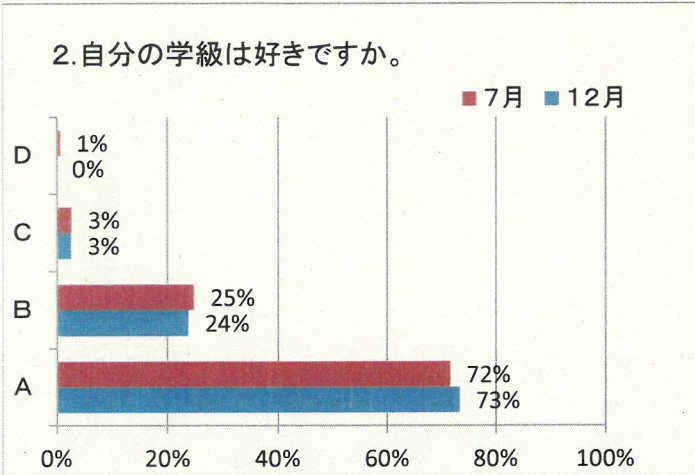
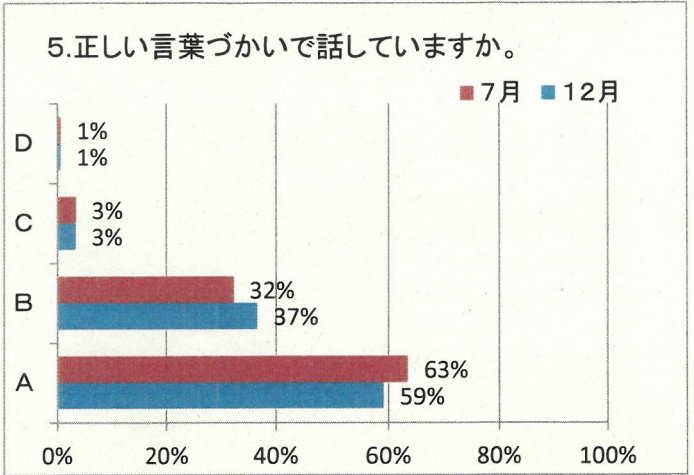
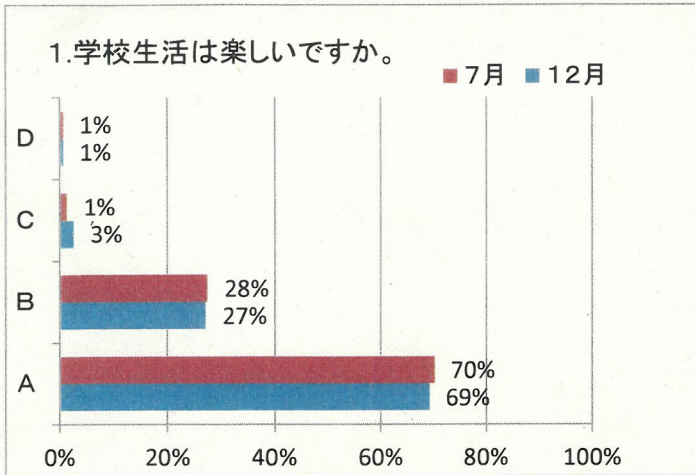
集計結果をまとめ、主な項目について考察しましたのでご覧ください。今回の考察を基に、今後の教育活動の充実、発展に努めてまいります。今後とも子どもたちのためにより一層のご支援とご協力をお願いいたします。

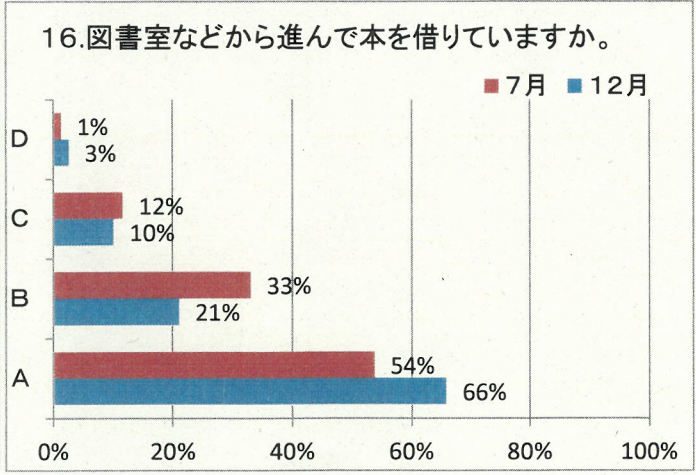
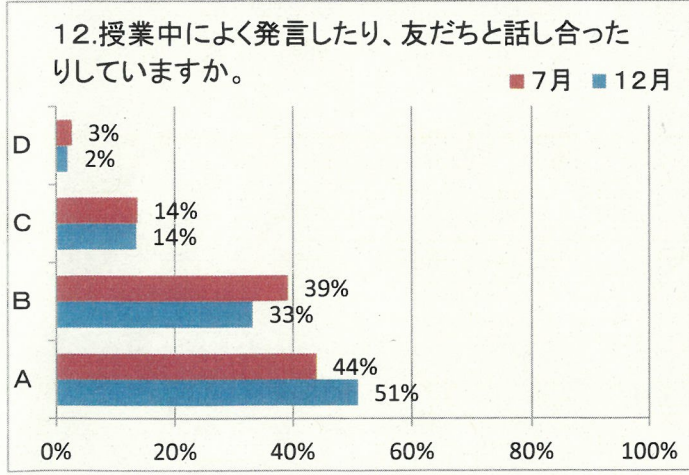
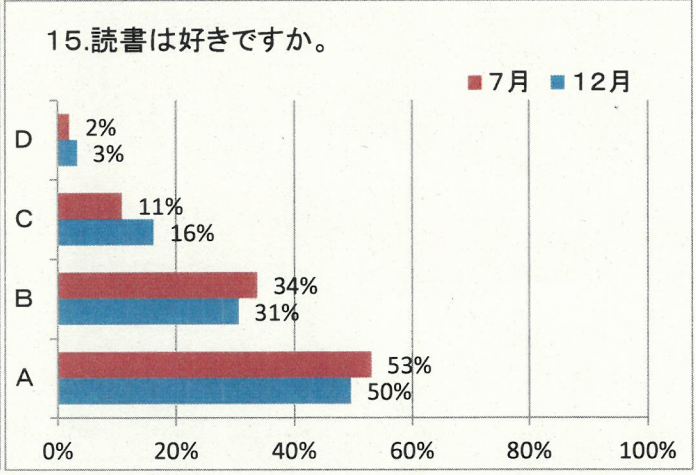
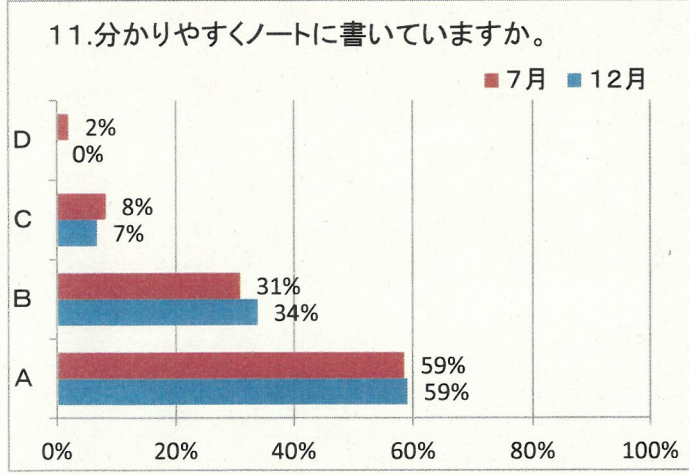
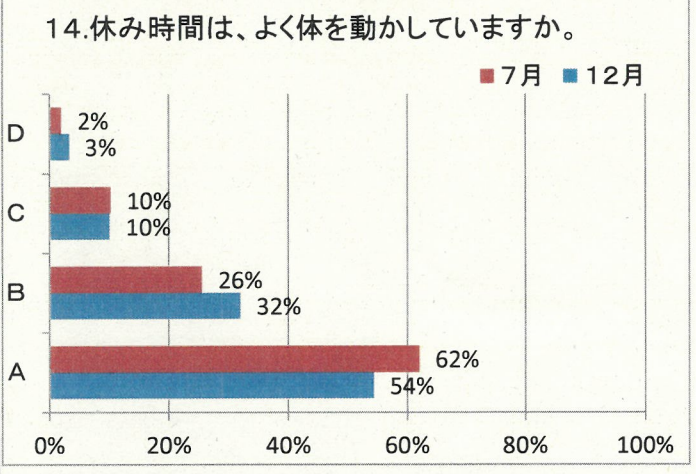
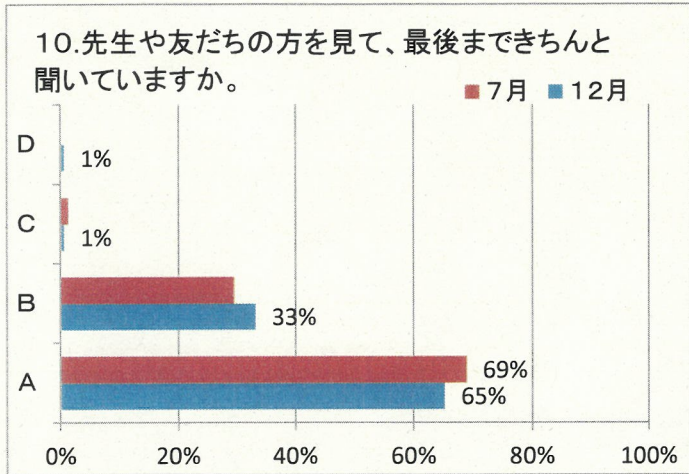
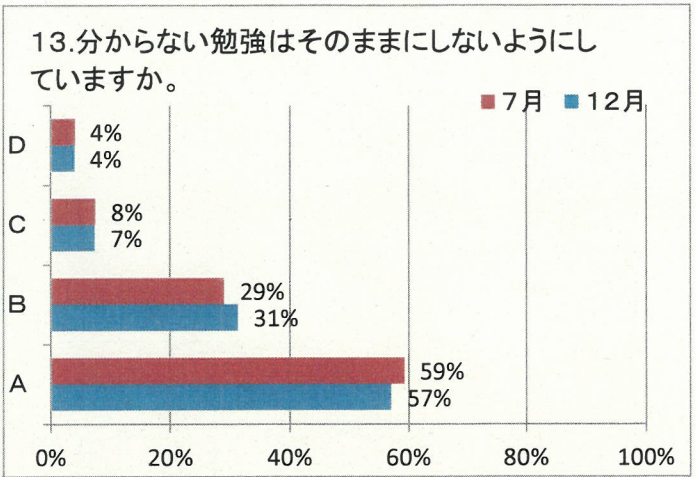
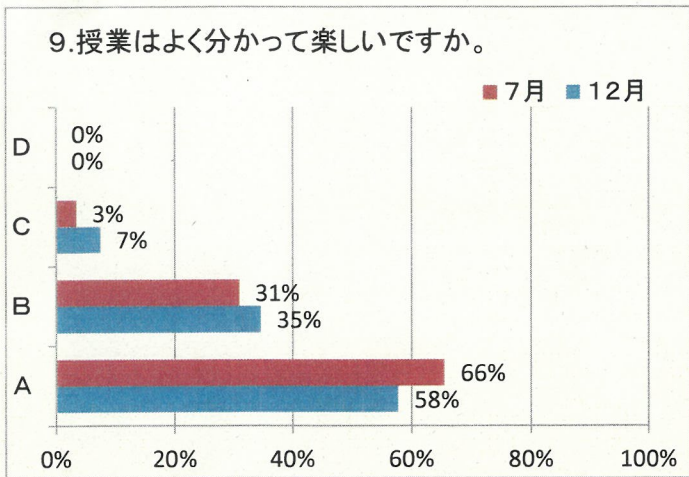
<集計結果について>

- 1 児童アンケート結果（グラフ）
- 2 児童用アンケート結果考察
- 3 保護者アンケート結果（グラフ）
- 4 保護者アンケート結果考察

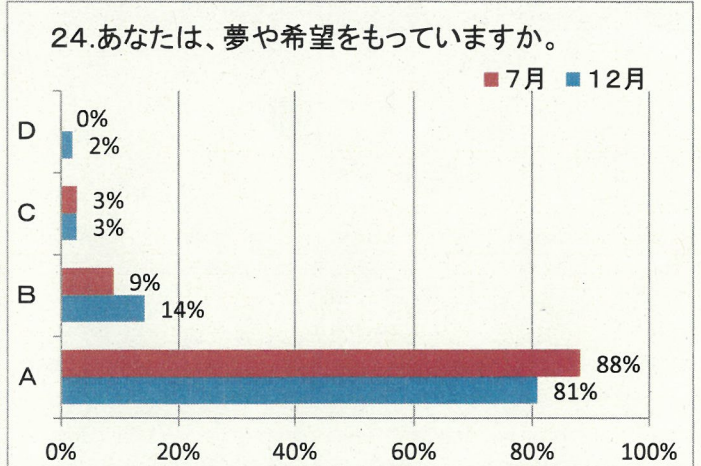
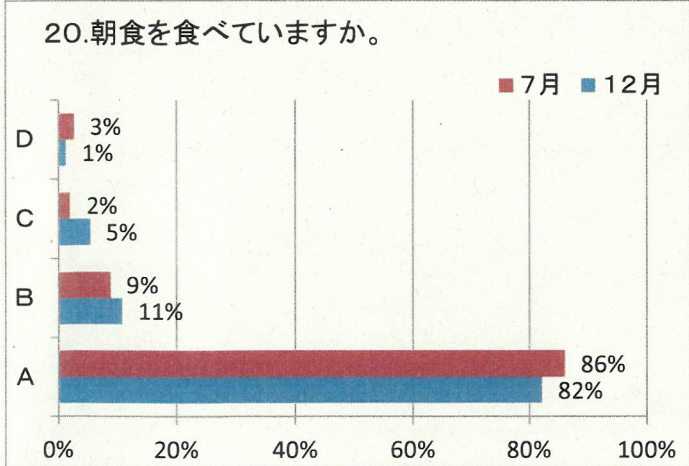
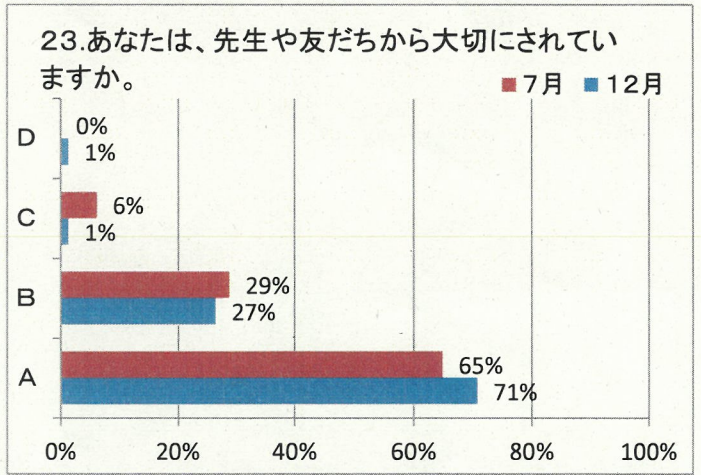
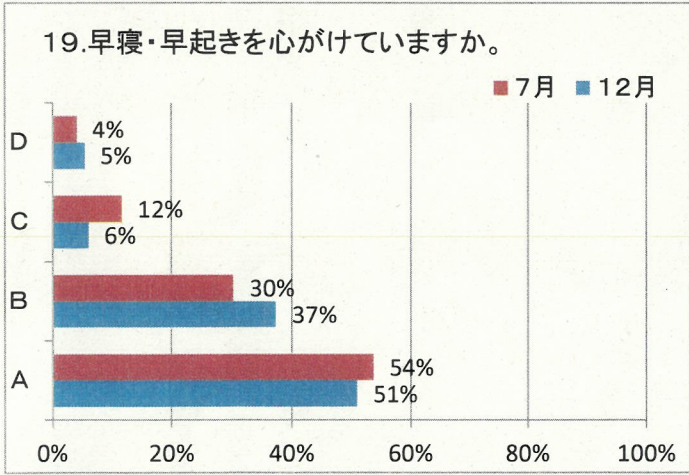
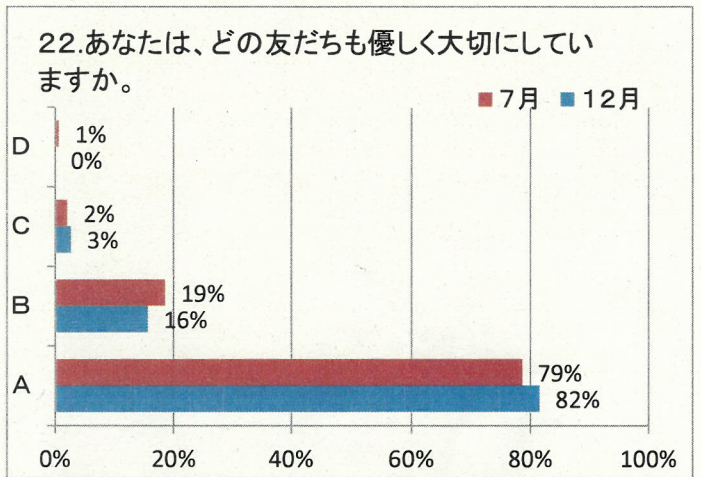
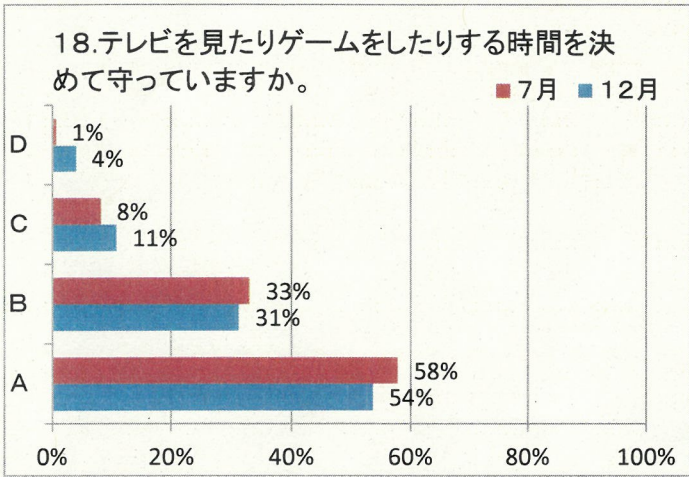
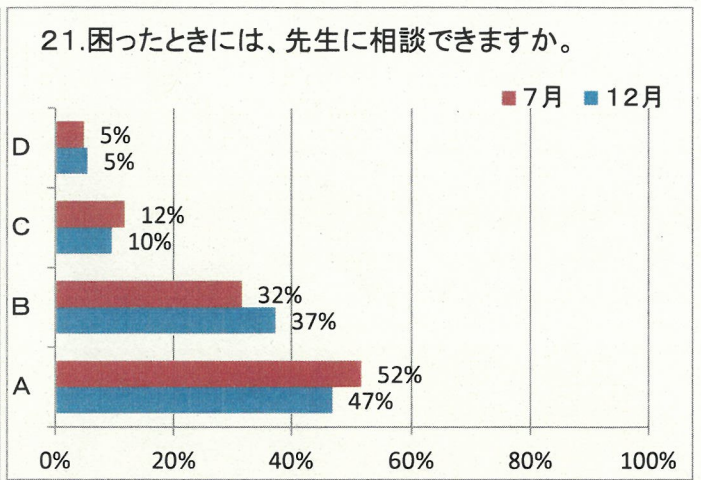
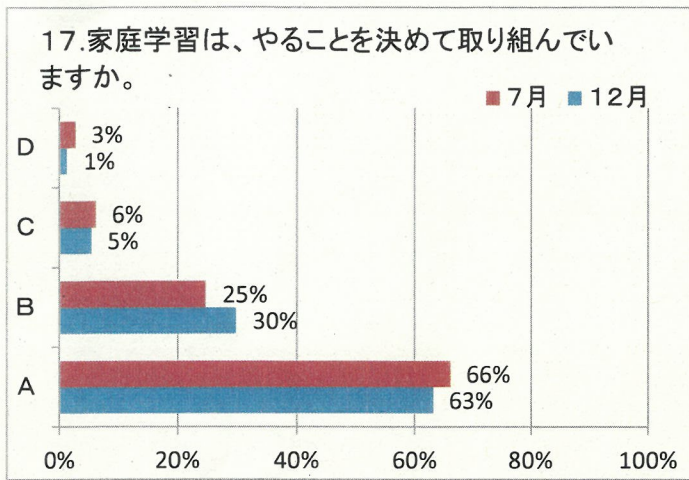
以上の内容をまとめてありますので、ぜひ、ご覧いただければと思います。

R6児童アンケート結果





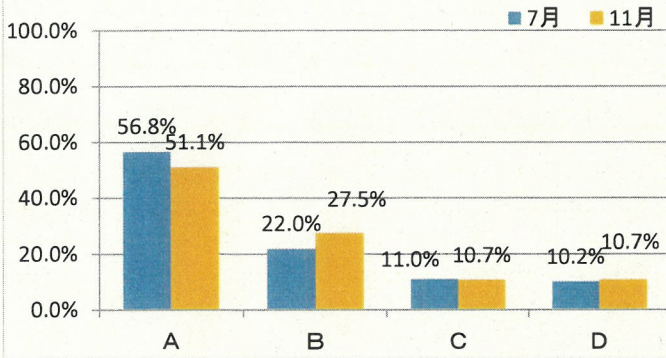
R6児童アンケート結果



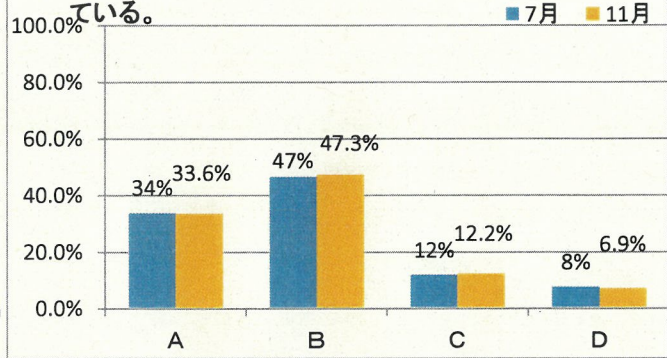
児童用アンケート結果考察

項目 1	○	学校生活は楽しいですか。	「A」「B」評価を合わせた肯定的な評価は2回目は若干下がったが、86%と十分な評価を得たと感じている。しかし、2回目に下がった評価を得たことは、今後の学校生活において、児童の要因を探るとともに、個別な支援を施していくようにしたい。
項目 2	○	自分の学級は好きですか。	2回目に肯定的な評価をした児童が97%とほぼ全児童が自分の学級を好きと感じていることは、担任の学級経営や指導が充実していたといえる。特に1回目より2回目に「D」と評価していた児童が0になったことから、今後も引き続き指導を進めていきたい。
項目 3	△	自分から進んで、はっきりとした声であいさつをしていますか。	1回目から2回目において「A」評価が49%から37%と大きく下がってしまっている。「A」「B」評価を合わせた肯定的な評価は大きな変化はないが、児童自身も自分の返事や積極的な挨拶への取り組みを反省しているように感じた。今後は、挨拶の良さをほめていく指導を積極的に行っていきたい。
項目 7	○	忘れ物をしないようにしていますか。	「A」評価が51%から66%と、15%上昇した。言葉かけや毎月のめあてなどで、意識できる児童が増えてきている。「C」「D」と評価している児童も5%減っているので、引き続き、生活習慣として身につけさせていく必要がある。
項目 9	△	授業はよく分かって楽しいですか。	「A」評価が69%から65%と4%減少した。「A」「B」評価を合わせた肯定的な評価も93%で、特に変化がないが、今後は、児童が主体的に学ぶ中で、「できる」「わかる」「楽しい」授業が展開されていくよう、より授業改善に努めていきたい。
項目 12	○	授業中によく発言したり、友だちと話し合ったりしていますか。	「A」評価が44%から51%と7%向上し、「A」「B」評価を合わせた肯定的な評価についても、84%であった。主体的・対話的な学びに向けて、各学級において授業改善を進めてきたことにより、児童の授業に対する意識が変化してきている。
項目 15 16	○	読書は好きですか。 図書室などから進んで本を借りていますか。	「A」評価が44%から51%と、7%上昇した。 「A」評価が54%から66%と12%上昇した。 子ども達が、本をより借りやすくする工夫をしたり、子どもたちが本に興味を持てるよう読み聞かせを行ったりしたことが、読書や図書館利用に対する評価につながったと考えられる。今後も継続していきたい。
項目 17	○	家庭学習は、やることを決めて取り組んでいますか。	「A」「B」の肯定的評価が91%から93%とわずかではあるが上昇している。各学級の指導により、児童が宿題や自主学習に取り組む中で、家庭学習の大切さに気づき出していると評価ができる。引き続き、家庭学習の定着を図り、学力向上につなげていきたい。
項目 19 20	△	早寝・早起きを心がけていますか。 朝食を食べていますか。	「A」評価が54%から51%に減少した。 「A」評価が86%から82%に減少した。 今後も家庭との連携を図り、メディアとのつき合い方も含めて、「早寝早起き朝ごはん」の生活習慣を身に付けさせていく必要がある。
項目 23	○	あなたは、先生や友達から大切にされていますか。	「A」「B」の肯定的評価が、94%から98%と上昇している。児童が、誰からも大切にされていると感じていることは、日々の生徒指導や保健教育等の積み重ねである。今後も継続していきたい。
項目 24	△	あなたは、夢や希望を持っていますか。	「A」の評価が、88%から81%と減少している。常に、キャリア教育を生かし、目標を持って行事や活動に取り組んでいるが、今後は、夢や希望を持つ良さや達成感が味わえるような指導の工夫を進めていきたい。

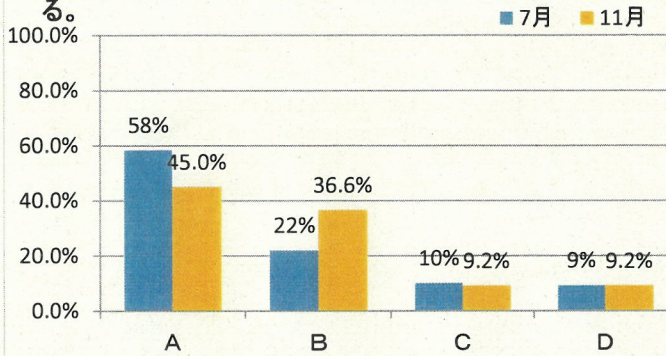
1 お子さんは、元気に学校に通っている。



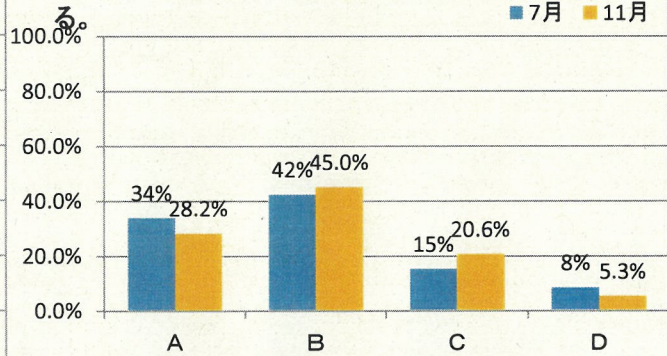
5 学校の雰囲気がよく、児童が生き生きとしている。



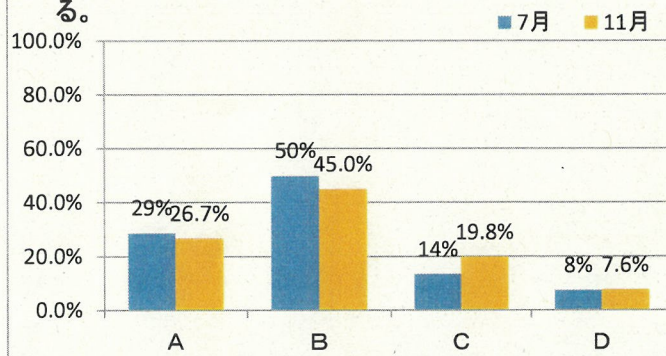
2 お子さんは、自分の学級が楽しいと感じている。



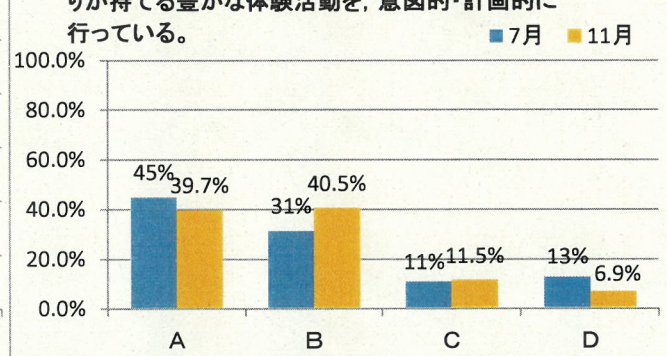
6 学校や学級の生徒指導の方針に共感できる。



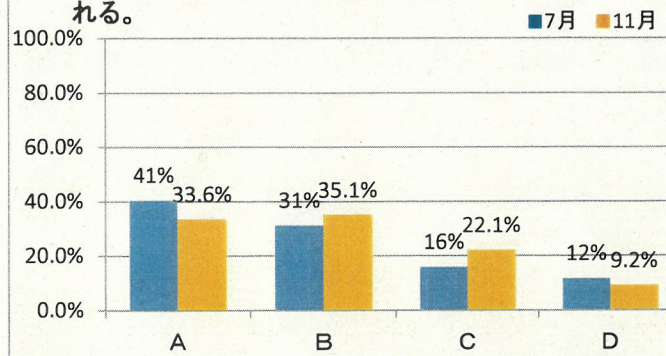
3 お子さんは、授業が分かりやすいと話している。



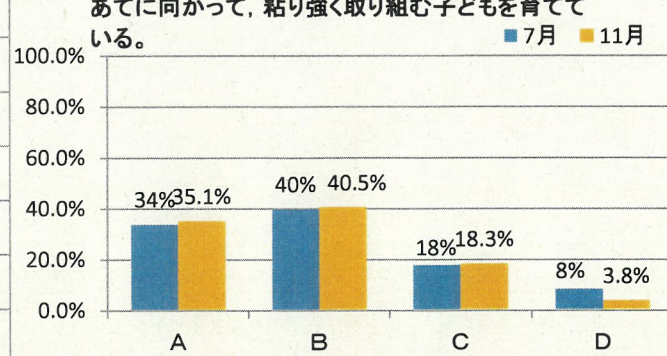
7 学校は、多くの人々、自然、地域社会との関わりが持てる豊かな体験活動を、意図的・計画的に行っている。



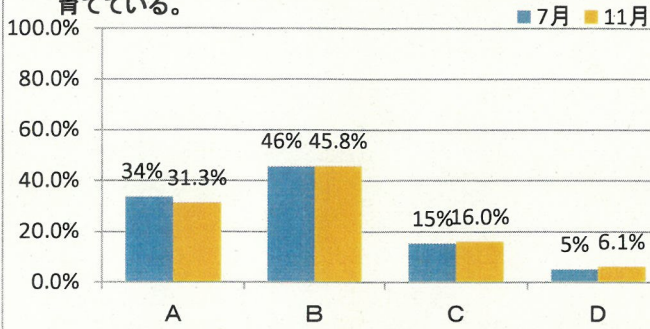
4 お子さんは、学校での出来事をよく話してくれる。



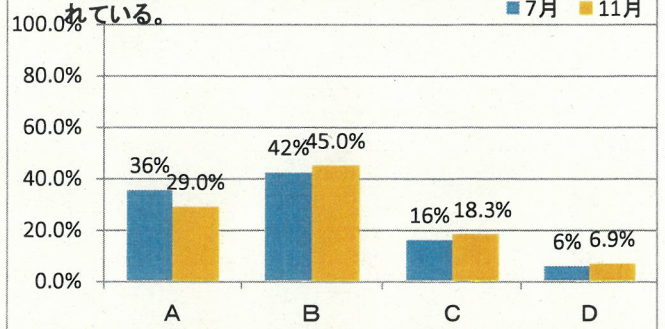
8 学校は、主体的な体力づくりの指導を行い、めあてに向かって、粘り強く取り組む子どもを育てている。



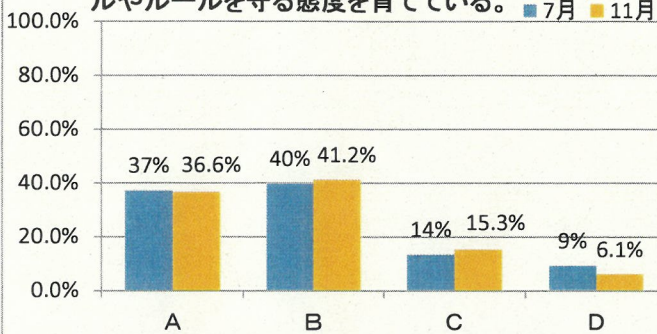
9 学校は、相手を大切に思いやり、道具を大切に扱ったりするなどの豊かな心を持った子どもを育てている。



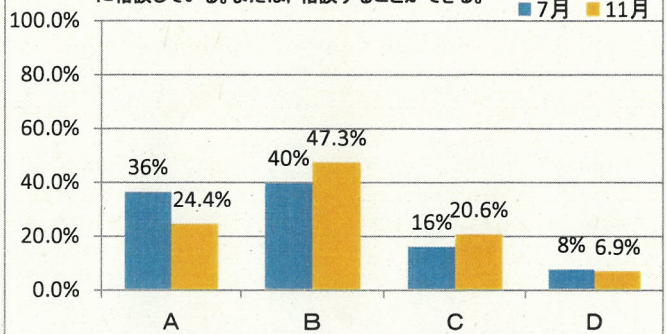
13 学校や先生は、お子さんの学習の相談や児童相互のトラブル、悩みなどに適切な対応をしてくれている。



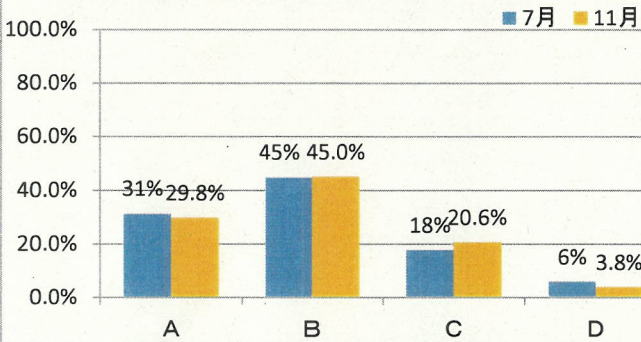
10 学校は、子どもに社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てている。



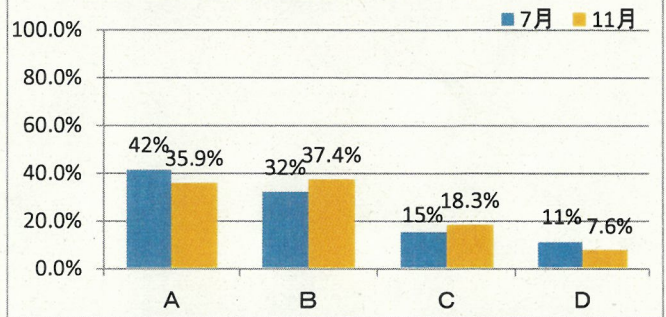
14 お子さんは、悩みごとがあった場合、先生や友達、家族に相談している。または、相談することができる。



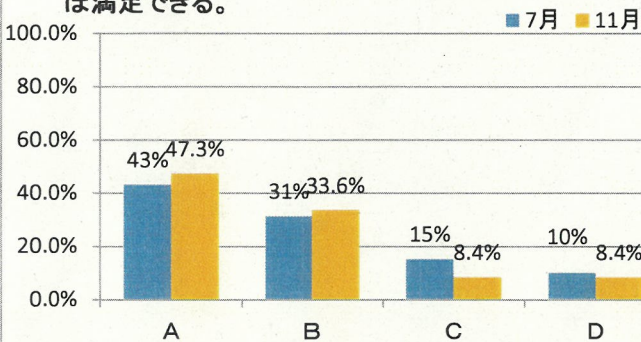
11 学校は、困難にぶつかっても、途中であきらめることなく最後までやりぬく子どもを育てている。



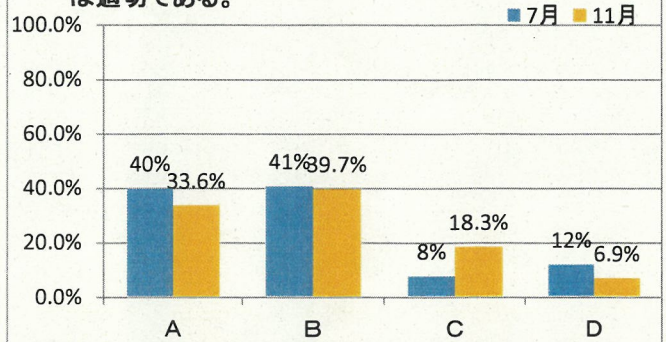
15 学校だより・学年だより・ホームページ・学級懇談会などを通して、教育の目標や方針、お子さんの様子や学校の取り組みなどをよく伝えている。



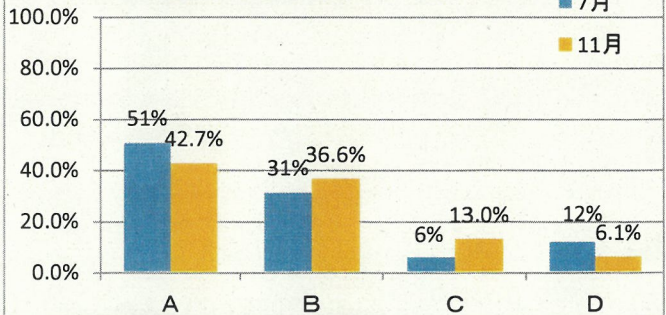
12 学校の施設・設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。



16 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。



17 学校は、保護者や地域の方々に、学校を公開する授業参観や行事などを適切に設けている。



保護者アンケート結果の考察

<考察>

Google フォームを使ったオンラインアンケートを実施した。

- 項目1「お子さんは、元気に学校に通っている。」
項目2「お子さんは、自分の学級が楽しいと感じている。」
項目5「学校の雰囲気がよく、児童が生き生きとしている」について
「A」「B」合わせた肯定的な評価がそれぞれ2回目が77.8%、88%、81%と、高い評価を得ている。しかし、2回目の「A」評価が下がっている点については、より保護者の理解と協力が得られるようにしていきたい。
- 項目3「お子さんは、授業が分かりやすいと話している。」について
「A」「B」合わせた肯定的な評価が79%から71.9%と減少している。教職員は、児童の実態に応じた手立てを講じながら、「誰にでも分かる・できる授業づくり」に取り組んでいる。今後も、学力調査の結果などをもとに、つまずきが多く見られた内容について補足的な指導を行っていきたい。
- 項目6「学校や学級の生徒指導の方針に共感できる。」について
1回目は「A」「B」合わせた肯定的な評価が、76%であったが、2回目は、73.2%と若干減少している。しかし、「D」の評価が減少しているため、今後も継続して、家庭と連携したきめ細やかな生徒指導を行っていくとともに、学級経営や生徒指導の方針等について、懇談会や学級だよりなどを通して丁寧に伝えていく必要がある。
- 項目7「学校は、多くの人々、自然、地域社会との関わりがもてる豊かな体験活動を、意図的・計画的に設けている。」
1回目は「A」「B」合わせた肯定的な評価が、76%であったが、2回目は、80.2%と上昇している。今年度は宿泊を伴う修学旅行や地域での学習の様子を学校、学級だより、ホームページで発信することでより学校の教育活動の協力と理解につながったと感じた。
- 項目8「学校は、主体的な体力づくりの指導を行い、粘り強く取り組む子どもを育てている。」
「A」「B」合わせた肯定的な評価が74%、75.6%と若干の上昇はあるが、日常の児童が、校庭で運動に取り組む外遊びにおいて教師と一緒に取り組む姿がより保護者への理解へ結びつくよう工夫していく必要があった。
- 項目12「学校の施設・設備は、学習環境の面ではほぼ満足できる。」
「A」「B」合わせた肯定的な評価が74%から71.7%と減少している。保護者は、子育てのや学習、友達関係など様々な点について相談しているのだと感じている。相談だけの対応だけでなく、いつでも学校は相談できる体制をとっていることを伝え、より真摯に受け止めていくようにしたい。
- 項目13「学校や先生は、お子さんの学習の相談や児童相互のトラブル、悩みなどについて適切な対応をしてくれている。」
「A」「B」合わせた肯定的な評価が78%から80.1%と上昇している。日々教職員全員で、環境整備や施設の安全面に配慮している点が、参観に来た保護者にも理解してもらえたのだと感じる。今後も引き続き環境整備をしっかりと行っていきたい。
- 項目17「学校は、保護者や地域の方々に、学校を公開する授業参観や行事などを適切に設けている。」
「A」「B」合わせた肯定的な評価が82%から79.3%と若干減少している。授業参観には、ほぼ全家庭が参観をしていただいた。後期に行われたマラソン大会や学習発表会でも好評をいただいている。今後も、より開かれた学校づくりを進め、地域や保護者の方々に理解と協力を得られるよう工夫していきたい。